

# ヒト子宮頸癌細胞株からのヒトパピローマウイルス (HPV) DNA分離

### プロトコル

1.5 ml マイクロチューブに回収した細胞ペレット (上限 1 × 106 個の細胞)

♣ PBS : 180 µ

ピペッティングあるいはタッピングで細胞をよく懸濁させる

**←** EDT : 20 µl **←** LDT: 180 μl

ボルテックス:15秒(最大回転数) 軽くスピンダウン



70℃インキュベーション:10分 軽くスピンダウン

ボルテックス:15秒(最大回転数) 軽くスピンダウン



QuickGene のカートリッジへ全量添加



使用装置の分離プロトコル参照 QuickGene-Mini480\*1



ゲノム DNA 回収 (回収液量: 200 µl)

\*1 本事例は旧機種で取得したデータも 含まれます。 その他QuickGeneシリーズでもこのプ ロトコルをご参考頂けます。

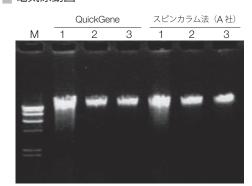
### ▋結果

細胞株 : HeLa (HPV18 10  $\sim$  50  $\sqsupset$   $\complement$  -)

: SiHa (HPV16 1  $\sim$  2  $\sqsupset$   $\Complex$   $\frown$ 

: CasKi (HPV16 400  $\sim$  600  $\sqsupset$   $\stackrel{}{}$   $^{}$ 

### 電気泳動図



電気泳動条件: 1.5% アガロース / 1 × TAE

 $M: \lambda \text{-Hind } \mathbb{I}$ 

1: HeLa

2:SiHa 3: CasKi

分離したゲノム DNA に分解は認められなかった。



#### ■ ゲノム DNA の収量

サンプル	HeLa	SiHa	CasKi
QuickGene	23.5 µg	11.6 µg	13.5 µg
スピンカラム法(A 社)	26.2 µg	10.5 μg	7.3 µg

#### ■ タンパク質の混入: A260/280

サンプル	HeLa	SiHa	CasKi
QuickGene	2.00	1.94	1.93
スピンカラム法(A 社)	1.81	1.94	2.15

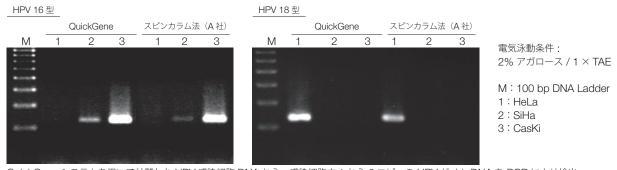
#### ■ カオトロピック塩の混入: A260/230

データなし

#### その他

#### • PCR

QuickGene システムおよびスピンカラム法(A 社)を用いて分離したゲノム DNA で、HPV の 16 型と 18 型のウイルスゲノム DNA の検出を、PCR 法により行った。



QuickGene システムを用いて分離した HPV 感染細胞 DNA から、感染細胞中 1 から 2 コピーの HPV ゲノム DNA を PCR により検出 することができた。

## ▋共通プロトコルサンプル

データなし

